



AU 通信

芦屋ユネスコ協会
事務局 〒659-8501 芦屋市精道町7-6
芦屋市教育委員会 社会教育部
生涯学習課内

TEL 0797-38-2091
FAX 0797-38-2089

ホームページアドレス
<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>
Eメールアドレス
ashiya@unesco.or.jp

発行：芦屋ユネスコ協会
会長 広瀬忠子

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

芦屋ユネスコ協会

～平和への祈りと願い～を込めて、

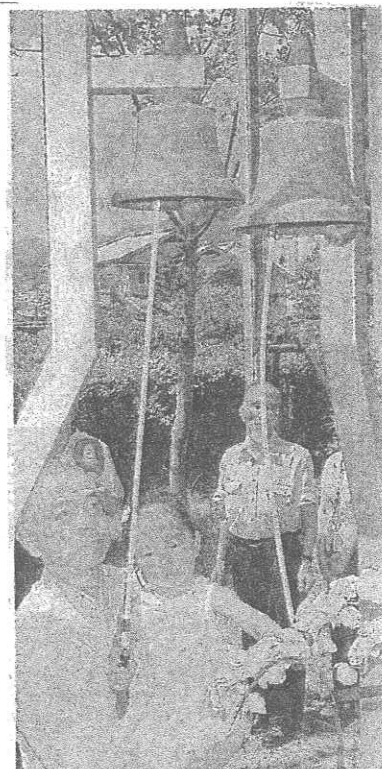
「平和の鐘を鳴らす」！！



61回目の終戦記念日の8月15日(火)、芦屋市民センター正面玄関横の「優愛の鐘」広場に山中 芦屋市長を始め、会員およびその家族を中心に市民約80名(内、子供15名)が集い、広瀬 会長、山中 市長の挨拶の後、ユネスコの平和宣言を一同で声高らかに唱和し、正午のサイレンと共に黙祷の後、一人ずつそれぞれの思いを込めて「優愛の鐘」を打ち鳴らし平和を祈りました。

「優愛の鐘」を鳴らす
広瀬会長

その後、芦屋市商工会館へ会場を移し、戦時食のふかし芋とおにぎりを食べながら戦争体験などを語り合い、平和の尊さをかみしめました。今年も、広瀬 会長が学徒動員で深夜まで工場で航空機製造に従事した話から「教育の大切さを身にしみて感じる。若い人には戦争のことをもっと知ってほしい」と語った。次いで、山田事務局長が終戦で朝鮮半島から命からがらで引き上げてきた生々しい体験を話し「今思い出しても涙が出る。今、平和で楽しく暮らせるありがたさに心から感謝している」と今日の平和を実感し、平和にもっともっと関心をもって欲しいものだと言った。また、今年も市内の山村喜一郎氏が特攻隊員となった際、身を案じる母から受け取った慈母観音像を抱えて鐘を鳴らし「二度と戦争をしてはならない」と声を震わせて語るなど、参加者から色々な体験や思い出が語られ有意義な懇談・懇親の集いとなりました。



祖父の腕に抱かれ、鐘を鳴らす女子（芦屋市業平町で）



慈母観音像を左手に抱えて「平和の鐘」の前に立つ山村喜一郎さん
＝芦屋市民センターで

芦屋ユネスコ協会の「平和の鐘を鳴らす」行事は、毎年継続して実施されてきており市民にも理解と協力を得て定着して来ました。報道機関も芦屋ユネスコ協会のこの行事を特別に取り上げ広く報道してくれるようになりました。今年は、前日のNHKテレビで開催予告がなされ、当日は、読売・毎日・朝日・神戸の4紙から取材を受け翌日の16日朝刊にカラー写真付きで報道されました。

この行事に皆様方大変ご協力を頂き有難うございました。厚く御礼申し上げます。

2006年度 芦屋ユネスコ協会

12月19日（火）「年末講演会&親睦会」のご案内

今年もまた年末が近づき、芦屋ユネスコ協会恒例の「年末講演会&親睦会」を実施いたしますので、会員・非会員を問わずお誘い合わせの上ご参加下さいませ。当日は講演会に加え、親睦食事会、ビンゴゲーム、エンターテイメントと盛沢山で、充分にご満足いただける内容となっています。詳細は同封のご案内用紙をご覧頂き、各自お申し込み下さい。当日は指定席となりますので、同テーブル希望の場合は一枚の用紙に連名でお申し込み下さい。但し、人数の都合でご希望に添えない場合もあることをご了承下さい。また、12月12日以降のキャンセルは実費を徴収いたします。

「ユネスコ還暦を迎える」課題新た！！

「心の中に平和のとりでを築く」と憲章でうたい、46年に誕生したユネスコ（国連教育科学文化機関、加盟191カ国）が今年、還暦を迎えた。地球をむしばむ紛争、宗教をめぐる対立など新たな課題に、教育の発展や文化交流に携わってきたユネスコは今後どう取り組むのか。99年に就任した日本の松浦晃一郎 第8代事務局長は、ユネスコの最重点事業を①基礎教育②文化多様性③水④生命倫理⑤知識社会の樹立であると定めた。特に教育の面では、00年、①15年までにすべての子供を初等教育に就かせる②同年までに成人非識字率を半減③05年までに初等教育の性差を解消一の目標を掲げた。だが③は未達成。小学校に通わない子供が1億人、非識字人口が8億人を超える現状では①と②の達成も危ぶまれている。途上国では識字活動や教育専門家の養成を地道に重ねているが、それを上回るペースの貧困、紛争、エイズに阻まれているし資金投入も課題を抱えている。

ユネスコの歩み

1922年	前身の国際知的協力委員会が発足
45年10月24日	国際連合が発足
46年11月4日	ユネスコ発足
11～12月	パリで第1回総会 ハックスレー初代事務局長（英国）就任
47年7月	仙台でユネスコ協力会発足
48年	トレス・ボデー第2代事務局長（メキシコ）就任
51年7月	日本がユネスコ加盟
52年	万国著作権条約採択
53年	エバンズ第3代事務局長（米国）就任
56年	日本が国連加盟
58年	ベロネーゼ第4代事務局長（イタリア）就任
62年	マウ第5代事務局長（フランス）就任
72年	世界遺産条約を採択（日本は92年に参加）
74年	ムボウ第6代事務局長（セネガル）就任
84年	米国が脱退
85年	英国、シンガポールが脱退
87年	マヨール第7代事務局長（スペイン）就任
97年	英国がユネスコ復帰
99年	松浦第8代事務局長（日本）就任
03年	米国がユネスコ復帰 無形文化遺産保護条約を採択
05年	反ドーピング条約、文化多様性条約を採択

書き損じハガキご提供のお願い

家の中に残されている未使用の古い葉書（書き損じハガキ）がありましたら、是非ご提供下さい。頂きました葉書はお金に換えられ、世界の非識字者のための学建設や子供たちの学用品調達などの資金になります。（この運を世界寺小屋運動と呼んでいます）

書き損じハガキ1枚で45円の募金になります。ネパールの国では葉書1枚で鉛筆が7本買え、アフガニスタン国ではノート1冊とボールペン2本買え、176枚で1人が1年間学ぶ事が出来ます。

あなたのハガキで沢山の人の夢を叶えることが出来るのです。あなたの優しさで世界が変わります。1枚でも多く書き損じハガキが集まり世界の平和につなげて頂きたいと、ご協力お願い致します。

芦屋ユネスコ協会では、年間を通じて書き損じハガキのご提供を受付けております。お知り合いの皆様にもご協力をお願いして下さい。

～あなたの ハガキ で幸せを～

第38回ユネスコ子どもキャンプ開催される

38回を迎える本年度のユネスコ子どもキャンプが、(社)日本ユネスコ協会連盟、兵庫ユネスコ協会連絡協議会、神戸ユネスコ協会の主催・伊丹市の共催で地元、三田市の伊丹野外活動センターで8月7日～9日まで実施されました。

全国から集まった小1年～中3年までの子どもたち76名と子どもたちの面倒を見る青年リーダー、運営スタッフなど合計170名の若者が一同に会し、野外の集団生活をしながら自然と共生する心や自立精神を養い、お互いの個性を認め合い「心の中に平和の砦を築く」というユネスコの精神をはぐくみました。

芦屋ユネスコ協会からは、残念ながら子どもの参加はありませんでしたが、8月7日の「開村式」には、由里副会長、山田事務局長、塩井君子理事の3名が出席し子どもたちを激励し、このキャンプの成功を祈念してまいりました。報告申し上げます。

平成18年度兵庫県ユネスコ連絡協議会出席報告

平成18年度兵庫県ユネスコ連絡協議会が9月11日(月)宝塚市立西公民館で開催されました。兵庫県下の芦屋、尼崎、神戸、三田、宝塚、西宮、伊丹、相生、川西、篠山、姫路、三木市の各ユネスコ協会が出席し平成17年度事業及び会計報告、平成18年度予算の承認、民間ユネスコの日、ユネスコ子どもキャンプの報告、会員・市民・学校などへの情報伝達方法、他ユ協の情報入手手段の検討などが議題になり、そのあと兵庫県下各ユネスコ協会の情報交換がなされ活動の内容が披瀝され質疑を交え研鑽に努めました。開会前にはアトラクションとして宝塚の特色を生かしたミニミュージカルの上演があり楽しく鑑賞させていただきました。

芦屋ユネスコ協会からは、広瀬会長、由里副会長、山田事務局長、塩井(君)理事が出席しました。報告申し上げます。

芦屋ユネスコ協会 主要行事 予告

～※2006年度 年会費未納の会員は至急納入して下さい。～

- ・10月27日(金) 18時～世界遺産セミナー(マレーシア編)―市民センター401
- ・10月28日(土) 近畿ユネスコ・ブロック研究会―滋賀県長浜市
- ・11月25日(土) 10時～「友の会子供の部屋」世界遺産の勉強会―芦屋市立図書館
- ・12月 3日(土) 13時30分～第3回理事会―市民センター203
- ・12月19日(火) 18時～年末講演会&親睦会―竹園ホテル3階

2007年

- ・1月末 AU通信発行 送付
- ・3月 4日(日) 13時30分～第4回理事会―市民センター203
- ・4月 9日(月) 世界遺産見学バス旅行―詳細検討中

編集後記

朝夕めっきり涼しくなりました。読書の秋・食欲の秋・・・大いに食べて風邪など引かぬ様年末講演会&親睦会に向けてがんばります。(本荘 美恵)